

関西学院高等部 スーパーグローバルハイスクール事業

1/30 2015年度成果発表会

スーパーグローバルハイスクール(SGH)に指定されて2年目の関西学院高等部は、SGH校とSGHアソシエイト校関係者及び教育関係者を対象に2015年度成果発表会を開催し、関西学院高等部のSGH事業における取り組みを発表する。

成果発表会では、久木田純・関西学院大学SGU招聘客員教授(元UNICEFカザフスタン事務所長)による「国連職員から見たグローバル人材」をテーマとした基調講演や高等部のGLP(グローバルリーダープログラム)の生徒がフィールドワークや課題研究の報告を英語で行う。課題研究報告では、「なぜ20世紀後半に民族紛争が多発したのか」や「ホームレス問題と真摯に向き合う」を課題研究のテーマとして取り組んだ生徒が発表する。

※一般参加不可

■日時: 1月30日(土) 10時~13時(受付:9時30分~)

■場所: 関西学院高等部 特別教室棟1階 第2視聴覚教室

■対象: 主に近畿のSGH校・SGHアソシエイト校関係者及び教育関係者

■スケジュール

9:30~ 受付

10:00~ 開会の辞 ルース.M.グルーベル(院長 / 高中部長)

10:10~ 基調講演 「国連職員から見たグローバル人材」
久木田 純(関西学院大学SGU招聘客員教授/
元UNICEFカザフスタン事務所長)

11:00~ 本校SGH事業について報告

11:40~ GLP生徒による実践報告会(英語発表)

- ① グローバルスタディーの授業展開について
- ② フィールドワーク報告(国内・海外)
- ③ 課題研究報告

・テーマ「なぜ20世紀後半に民族紛争が多発したのか」
・テーマ「ホームレス問題と真摯に向き合う」 など

12:20~ 閉会の辞 石森圭一(高等部長)

12:30~ 情報交換会

■問い合わせ: 関西学院高等部 TEL 0798・51・0975

関西学院創立125周年記念建設事業

2/1 総合体育館が大学専用体育館としてリニューアル

2月1日(月)、125周年記念建設事業である総合体育館(西宮上ヶ原キャンパス)の改修工事が完了し、大学専用の体育館としてオープンする。大学と高等部用に分かれていたアリーナの統合、これまで館外にあったトレーニングセンターや課外活動を支援するスポーツ・文化課事務室を館内に移転するなど機能の集約および充実を図った。今後は、正課・課外活動の両面で、より一層活発な利用が見込まれる。

次号 2月15日(月)発行予定

「フードバンク」をご存知ですか？ 欧米の先進活動にノウハウ学び、普及をめざす 人間福祉学部の高木悠さん

パッケージの印字ミスなど食品の鮮度や安全性に問題がないにも関わらず市場に流通しない食品を企業や家庭から寄付してもらい、貧困家庭などに無償で届ける「フードバンク」というボランティア団体の組織化が昨年国内で急速に進んでいる。

高木悠さん・人間福祉学部4年生は、昨年秋から団体のひとつであるNPO法人「フードバンク関西」(芦屋市)でボランティア活動に参加している。

「フードバンク関西」は一般と学生の活動の場があり、高木さんは学生ボランティアとしてフードドライブ(一般家庭で余った食品を集める活動)や、SNSを使った広報活動の補助などを行っている。

高木さんは3年生のときフードバンク先進国のイギリスに中期留学し、フードバンク団体でインターンシップを経験した。実は何をやる団体かも知らずに飛び込んだ活動だったが、ボランティアの人たちの社会貢献にかける志の高さに目を見張った。みんなで朝早くから教会などを回って食品をもらい、福祉施設など需要の大きいところや家族向け・単身者向けといった細かなニーズに合

わせて丁寧に食品を仕分ける活動に汗を流した。

約2週間のインターンシップでフードバンクの運営実務や活動の基本ノウハウを学び、さらにスタッフの生の声も聴いて、日本でもフードバンクを普及できないか考えるようになった。フードバンクは欧米では70



年代から活発な活動が始まっているが、日本で始まったのは2000年以降で、実態はほとんど知られていない。高木さんの活動などでフードバンクの認知度が日本国内でも少しずつ上がってきた。

「日本のフードバンクは先進地域から見るとまだまだ揺籃期です。社会人になっても活動の普及に力を入れ、フードバンクの仕組みを知ってもらうことで食品ロスや貧困問題にもっと関心が高まることを期待しています」と意気込んでいる。